

施策評価シート（平成25年度実績評価）

◎ 施策の基本情報

総合計画 中期プラン	政策No.	3-5	政策名	芸術文化の振興	政策の 目指す姿	地域の歴史や文化、先人に誇りを持ち、芸術文化に親しんでいます	施策 主管課	生涯学習交流課	施策主管 課長名	市川 清志
	施策No.	1	施策名	芸術文化活動の推進	施策の 目指す姿	身近な場所で芸術文化に触れ、芸術文化活動を行っています	関係課名			
	現状と課題	<p>・余暇時間の増加やライフスタイルの多様化に伴い、芸術文化の鑑賞のほか、芸術文化活動を通じた健康や生きがいづくりへの関心が高まっています。</p> <p>・市内には多くの芸術文化団体が組織され、様々な活動が展開されていますが、会員の高齢化が見受けられるほか、団体数は平成21年の234団体をピークに減少傾向にあります。</p> <p>・市民の芸術文化活動の発表の場や鑑賞の場である芸術文化施設の老朽化が進行しています。</p>								

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取り組み実績

<p>(1) 芸術文化に触れる機会の提供</p> <p>○ 優れた作品の鑑賞機会の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化会館自主事業 <p>○ 芸術文化施設的环境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化活動支援事務(備品整備等) <p>(2) 芸術文化活動の支援</p> <p>○ 市民の芸術活動を発表する場の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民芸術祭 <p>○ 市民の芸術文化活動に対する支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化団体等補助

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	数値 区分	H23	H24	H25 (基準年度)	H26	H27	H28
市民芸術祭参加者数・入場者数	市民が、どの程度身近な場所で芸術文化に触れたり、活動を行っているのか、その状況を示す指標	出典:生涯学習課 市民芸術祭の会場ごとに参加者数と入場者数の実数を捕捉する。	人	目標値				13,000	14,000	15,000
				実績値	13,006	12,091	12,852			
				目標値						
				実績値						
				目標値						
				実績値						
				目標値						
				実績値						

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
	<p>・「市民芸術祭参加者数・入場者数」は昨年に比べて増加しているが一昨年からは微減の状況である。参加団体からは後継者不足との声が聞こえており、参加者の高齢化が懸念されている。</p>

4 施策を構成する事務事業一覧

番号	事務事業名	担当課	施策への貢献度	貢献度の判断理由
	事業内容(実績)			
1-1	芸術文化推進事業	生涯学習交流課	B	芸術に対する関心を高めるために、市民が参加できる活動は必要不可欠である。
	市民芸術祭の開催、文化団体等への補助。			
1-2	芸術文化推進事業	文化会館	B	地方においては一流の芸術を鑑賞する機会が必要。
	一般鑑賞事業3公演、入場者数1,182人。団体鑑賞事業15公演、入場者数10,733人。			
2	萬鉄五郎記念美術館企画展示事業	萬鉄五郎記念美術館	B	市内唯一の美術館として市民に様々な美術を紹介し体験させていることは貢献度が高い。
	収蔵品展(4～7月)、瀧口修造展(7～9月)、杉本吉武展(9～11月)、など開催。			

5 施策を構成する事務事業の検証

(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか)

(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか)

(新たに取り組むべき事業はないか)

6 施策の総合的な評価

(課題)

- ・文化会館等の老朽化等により、市民が気軽に芸術に触れられるような環境づくりが求められている。
- ・芸術活動への参加者が高齢化している。

(今後の方向性)

- ・文化会館の改修やホール・ギャラリーの新設を検討する。
- ・市民芸術祭等へ高校生や大学生が参加できるように事業構築を図る。